

第 16 回 グリップの形

今はもうすっかり定着していますが、ボウリングボールには基本フィンガーグリップ装着とサムソリッドを打ち込むことが当たり前の時代になっています。

昔のボールを見ると、穴だけ開いたハウスボールのような状態で、手に合わせてドリルしてある素掘りが主でした。

フィンガーグリップを入れることでの効果は、指のノリを強くし、さらにゴム特有の柔らかさが指への負担も少なくしてくれることなので、理由がない限り付けたくないことがないはず。

そんなフィンガーグリップ、そのゴムの形状にも様々なことをみなさんはご存知でしょうか？

形状が違うということは使い道が違う、ということでもあり、指の形や硬さでも種類を変えた方がいい場合もあります。

あとは、回転のかりやすさも形状でだいぶ影響することが実際にわかっていますが、それはしかし、本人に合っているかという相性問題なのかなと思っています。

では、いったいどのような種類が存在しているのか、当センターが使用しているものを抜粋して紹介してみます。(世の中にはほかに種類があるのはお忘れなく)

1. パワーリフト

穴の形状がいわゆる「かまぼこ」のようになり、平らな面と半円がくっついたようなものを「パワーリフト」と呼んでいる。名前の通り、指に力強いのっけることを重視した形状。基本はこちらの「ゴム」を選択し、合わない場合別のもので使うといった基準になると、私は

思っています。フィンガーチップタイプ。

2. セミフィンガー

穴の形は「円」だけど、穴の奥に指が引っかかる凸があるタイプを指す。メーカーによって凸の大きさが変わる為、いろいろ試す必要がある。指の第一と第二関節の間まで入れて投げる形になるため、指にのっけている時間が長くなり回転が増す人がいる。第一関節が硬くて曲げにくい人にはこちらをおススメすることが多い。回転かけた人は、一度使ってみるとよいかも？

3. オーバル

楕円形の穴の形をしたもの。指の形は楕円形であることから指を入れた時のフィット感が一番よいのはこの種類である。特に引つかかるように作られているわけでもなく、素直に投げたい時に使いたい。楕円の分小さく感じることもあるので、サイズ注意。

4. パワーリフトオーバル

名前の通り、「パワーリフト」と「オーバル」を足して半分にしたような形で、パワーリフトの平らな部分が楕円のように丸くなっている。パワーリフトのフィット感をオーバルに近づけた形である。指のりにはパワーリフトに劣り、フィット感もオーバルには劣るが、どちらの性能も持ったため、合つ人には一番合つ形かもしれない。

<筆者>



猫をこよなく愛し
猫に愛されたい
とあるボウラー

<好きなもの>
にゃんこ